



Advanced care planning に関わる 医療従事者が知っておきたいエビデンス

患者さんが「大切にしたいことを尊重されるようなケアを受けることができ、望ましい過ごし方を実現する」ための手段の1つとして、Advanced Care Planning (ACP)が注目されています。2018年に、厚労省による「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」が改定され、ACPの共通認識の広がりは大きくなってきています。

このセミナーでは、聖隷三方原病院で、緩和ケアの一線でご活躍の森 雅紀先生をお招きして、ACPの概念整理から、エビデンス、看護師が担う役割についてご講演いただく予定です。がん看護に携わられている皆様のご参加をお待ちしています。



日時: **2021年2月6日(土) 9:30~11:30**

場所: **兵庫県立大学 看護学研究科遠隔講義室 (Zoom)**

※アクセス先のリンク(URL)とパスワードは、以下のサイトにてお申し込みをいただいた方にメールでご連絡いたします。

対象: **がん看護に携わる看護師、専門・認定看護師、CNSコース大学院生、修了生、教員 (先着 80名)**

講師: **森 雅紀 先生**

(**聖隷三方原病院 緩和支援治療科 医長**)

無料



※お申し込み先(事前申し込みとなります)

以下へアクセスの上、必要事項(氏名、所属、連絡先等)を、**2021年1月27日(水)**までにご登録ください。

<http://apnhyogo.net/seminar2/>

登録完了次第、折り返しアクセス先など詳細をご連絡いたします。

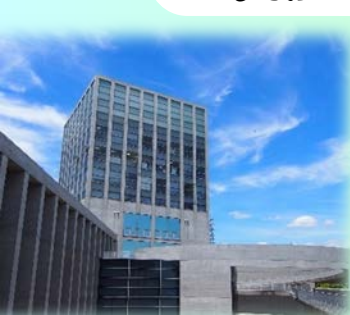
なお、スマートフォンなどからお申し込みの場合、PCからのメール受信ができる設定にしておいてください。



—主催—

兵庫県立大学大学院看護学研究科

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン
(責任者: 内布 敦子)



■講師紹介

2002年に京都大学医学部をご卒業後、沖縄県立中部病院で内科研修、米ベスイスラエルメディカルセンターで内科研修、テキサス大MDアンダーソンがんセンターで緩和ケア研修、バーモント大で血液・腫瘍内科研修を終えられた後、2011年より聖隷浜松病院、2016年より聖隷三方原病院にて緩和ケアの臨床・研究の一線で活躍されています。近著として、「Advanced Care Planningのエビデンス 何がどこまでわかっているの?」をご出版されています。

日本内科学会認定医/専門医/日本緩和医療学会専門医/臨床研修指導医養成講習会修了/緩和ケアの基本教育に関する指導者研修履修/医療安全管理者養成研修修了/米国ホスピス緩和医療専門医

■内容

ACP の概念整理、ACP 研究におけるエビデンス、ACP における看護師の役割、海外と国内での ACP 実践のご経験についてご講演いただき、参加者同士での事例検討をとおして、ACP への理解を深めるとともに、看護師が果たす役割について、検討を行う予定です。

連絡先:兵庫県立大学看護学部内 がんプロ事務局
兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号
TEL:078-925-0860 FAX:078-925-0858
E-mail:ganpro29-jim@cnas.u-hyogo.ac.jp



兵庫県立大学 大学院 看護学研究科

College of Nursing Art and Science, University of Hyogo

